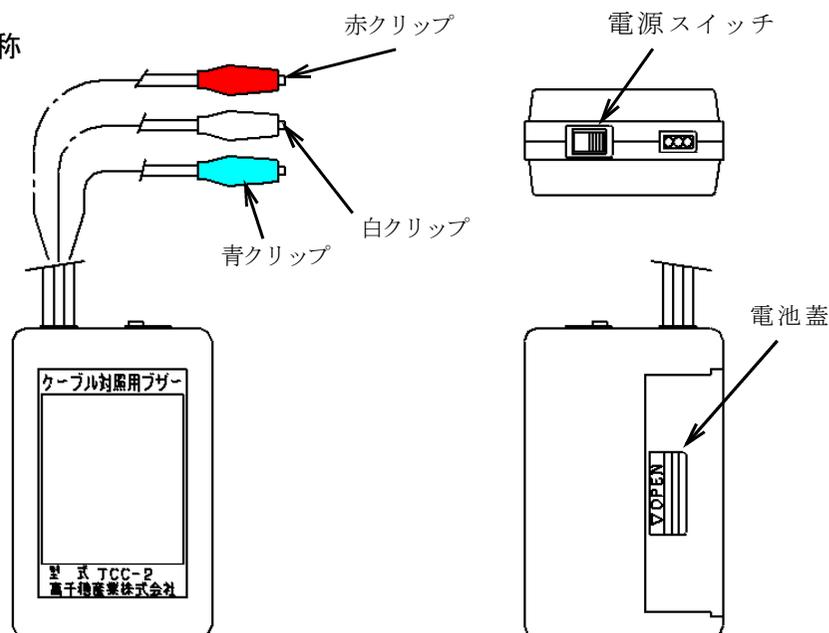


# ケーブル対照用ブザー（TCC-2） 取扱説明書

## 1. 概要

本器は宅内の電話工事及び保守、または局内における線番対照に使用します。対照しようとする心線に交流信号を送り、この発信音をブレストで聞くことで目的のケーブルを対照できます。

## 2. 各部の名称



## 3. 仕様

電源 : 単3乾電池 1本 ※連続使用時間は約150時間以上  
 周波数 : 約500Hz  
 送信レベル : -15dBm以上(600Ω負荷、電池電圧1.5V時)

## 4. 使用方法

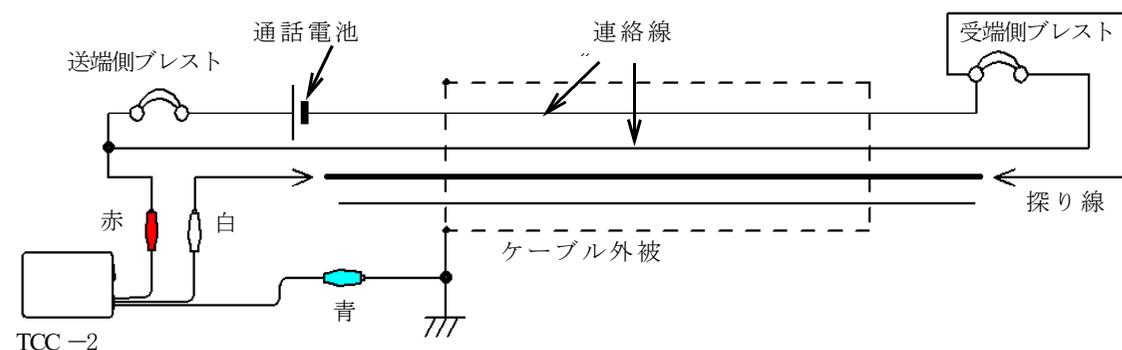
### (1) 電源の操作・電池の交換

- 電源スイッチのレバーを操作し電源を入れます。(緑色マークが見える状態)
- 電池交換は、電池蓋の中央部を押しながら矢印方向に動かすと外れますので、新しい電池と交換してください。

<b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用しないときは必ずスイッチをOFFにしてください。</li> <li>電池を挿入するときは (+) (-) を間違えないようにしてください。</li> </ul>
-----------	---

### (2) 配線・接続

対照するケーブルの送端に本器とブレスト、受端にはブレストを接続します。



### <送端側の接続>

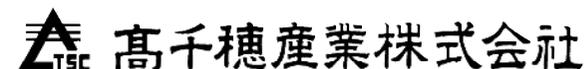
- 連絡線を1回線選び、片線に本器の赤クリップとブレストの片側を接続します。連絡線の残りの片線に通話電池のマイナス側を接続し、プラス側をブレストに接続します。通話電池は、現用回線の場合接続する必要はありません
- 本器の青クリップは、発信音が他線に誘導するのを低減させるために必要ですので、ケーブル外被に接続するか、接地してください。

### <受端側の接続>

- 連絡線の両端にブレストを接続し、探り線を引出します。

### (3) 対照方法

- 送端側は本器の白クリップを対照する心線に接続してください。
- 受端側は探り線を心線に当て、一致すると発信音が最も大きく聞こえます。  
※送受端共にブレストで聞くことができます。
- ケーブル心線の相互間の静電容量によって他線にも発信音が聞こえて、心線の位置を推測することもできます。ただしケーブルが非常に長い場合は、発信音が減衰するため聞こえません。



お問合せは：  
 岩倉工場 〒482-0041 岩倉市東町江東10-1  
 TEL (0587) 37-7771 FAX (0587) 37-7766

本社	〒462-0041 名古屋市北区浪打町1-44	TEL (052) 915-1111
東京支店	〒108-0014 東京都港区芝5丁目32-8	TEL (03) 3453-4778
名古屋支店	〒462-0041 名古屋市北区浪打町1-44	TEL (052) 915-1111
大阪支店	〒550-0012 大阪市西区立売堀2-1-11	TEL (06) 6536-1730